

第3回「孤独・孤立に関するフォーラム」

令和3年7月6日

東京都公立学校スクールカウンセラー

シニア・スクールカウンセラー

柴田 恵津子

「新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開後の児童生徒に対する生徒指導上の留意事項について（通知）」文部科学省 令和2年5月27日

児童生徒の自殺予防について

児童生徒の不登校について

児童虐待について

児童生徒に対する差別や偏見について

自殺の危険因子

- ・ハイリスクになりやすい生徒

自殺未遂 心の病 安心感の持てない家庭環境

独特の性格傾向（極端な完全主義、衝動性等）

喪失体験（離別、死別、失恋、進路選択、予想外の失敗等）

孤立感（友だちとのあつれき、いじめ等） 安全や健康を守れない傾向

（「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」文部科学省 2009）

経済不安・進路不安はどのように現れたか

「自分の部屋はない、PCもない、インターネット接続はできない
どうやって勉強したらいいのだろうか？」

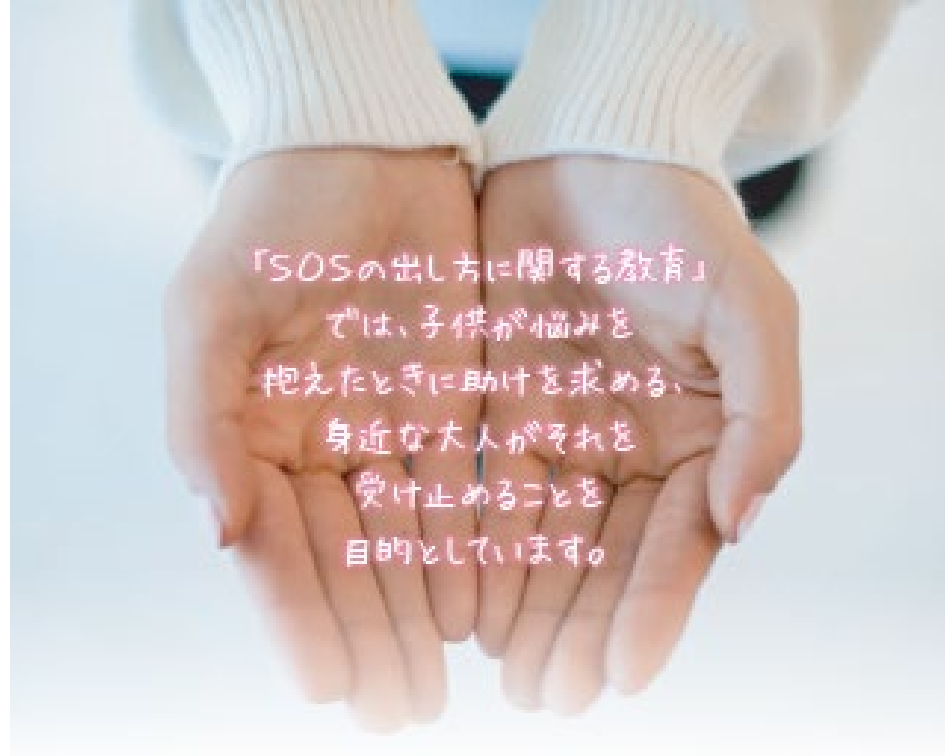
今や6人に一人の子供が相対的貧困の状況にある（厚生労働省2016年）

ひとり親家庭、介護の必要な家族のいる家庭、経済的に不安定な家庭等には公的支援が必要である。COVID-19の蔓延下、覆い隠されていた「本当に困っている人」が顕になった。
災害時、公立学校は地域の窓口でもあるのだが、どうしたら十分な支援の手と繋がっていくことができるだろうか。

心理的な抵抗感

周囲の人による配慮が必要なのは、
物心両面において、支援を受けることに対して親子が示す
「恥ずかしい」「後ろめたい」「友達に知られたくない」と
いった心理的な抵抗感に対してである。

自己肯定感の低下した子供は、他者に助けを求めるのが苦手



「SOSの出し方に関する教育」
では、子供が悩みを
抱えたときに助けを求める、
身近な大人がそれを
受け止めることを
目的としています。

SOSの出し方に関する教育を 推進するための指導資料

活用ガイド

「SOSの出し方に関する教育」を
推進するための指導資料について
[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/
school/content/sos_sing.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/sos_sing.html)

コロナ禍の生活

お互いの安全を図りながら つながりを保つことは ひとりひとりの責任です



物理的距離の確保は、社会的な孤立とは異なります (WHO)
より抜粋

東京都医師会 学校精神保健検討委員会

発達障害や不登校、いじめ、こころの問題など、学校精神保健に関する諸問題について協議検討しています。
また、児童生徒の精神保健に関する問題について、具体的な事例と解決方法をまとめた「学校精神保健に関する事例とその解説」を作成しています。

【学校保健関係の委員会が掲載されているページ】より
<https://www.tokyo.med.or.jp/gakkou/committee>

子どもたちとともにパンデミックを乗り越える

—新型コロナに対峙する学校精神保健—

令和3年2月

東京都医師会 学校精神保健検討委員会